衆議院議長に対する申し入れ

民主党と赤松委員長は、本日、与野党合意なしに一方的に倫理選挙特別委員会を開会し、民主党のみの出席で民主党案の採決を強行した。

民主党は、この間、衆院選挙制度に関する各党協議を一方的に打ち切り、単独で法案を提出して委員会への付託を強行し、さらに単独で趣旨説明・質疑を行い、採決まで強行した。選挙制度は議会制民主主義の土台であり、与党だけで強行することは、断じて許されない。憲政史上これほどの暴挙はない。

議長においては、民主党単独の強行採決を認めず、本会議の議題としないよう取り計らうべきである。われわれは、選挙制度について、各党間の協議の場を設けるなど、丁寧な議論をやり直すことを求めるものである。

2012年8月27日

自由民主党	岸田　文雄
国民の生活が第一	鈴木　克昌
公明党	漆原　良夫
日本共産党	穀田　恵二
新党きづな	豊田　潤多郎
社会民主党	照屋　寛徳
みんなの党	山内　康一
新党大地・真民主	松木　けんこう
たちあがれ日本	園田　博之
新党日本	田中　康夫
新党改革	荒井　広幸

47

衆議院議長に対する申し入れ

昨日、民主党は赤松委員長のもと、与野党の合意なしに倫理選挙特別委員会を開会し、全野党欠席の中、選挙制度法案の採決を強行した。

選挙制度に関して昨秋来与野党の政党間協議を行ってきたが、民主党は一方的に協議を打ち切り、単独で民主党案を提出して、委員会へ付託を強行した。さらに全野党欠席の中、民主党案の趣旨説明、質疑を単独で行い、昨日強行採決した。

民主主義の根幹ともいえる選挙制度について、与党の多数をもって強行採決することは憲政史上類を見ない暴挙であり、断じて許すことはできない。

倫理選挙特別委員会での採決後、野党各党は一致して本日の本会議の議題としないよう横路議長に求めたが、議院運営委員会で与党が押し切り、本日、選挙制度法案が採決される日程を決めた。

議長においては、このような多数の横暴を認めることなく、選挙制度法案を本会議の議題として取り上げず、与野党の協議を斡旋するよう要請する。

2012年8月28日

自由民主党	石原　伸晃
国民の生活が第一	東　祥三
公明党	井上　義久
日本共産党	市田　忠義
新党きづな	渡辺　浩一郎
社会民主党	重野　安正
みんなの党	江田　憲司
新党大地・真民主	松木けんこう
たちあがれ日本	園田　博之
新党日本	田中　康夫
新党改革	荒井　広幸

48